【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第６部門第３区分
【発行日】平成21年4月23日(2009.4.23)

【公開番号】特開2006-195966(P2006-195966A)
【公開日】平成18年7月27日(2006.7.27)
【年通号数】公開・登録公報2006-029
【出願番号】特願2005-355259(P2005-355259)
【国際特許分類】
Ｇ０６Ｆ　13/00　　(2006.01)
Ｇ０６Ｆ　12/00　　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｇ０６Ｆ　13/00　　３５１Ａ
Ｇ０６Ｆ　12/00　　５３３Ｊ

【手続補正書】
【提出日】平成21年3月10日(2009.3.10)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
コラボレート環境での複数の通信モードの間で遷移するためのコンピュータによって実施される方法であって、
第１のコンピューティングデバイスから共有オブジェクトにアクセスするステップであって、前記共有オブジェクトはコラボレートなオブジェクトであり、マニフェストファイルの位置を示すロケーション識別子を含んでいる、共有オブジェクトにアクセスするステップと、
前記共有オブジェクトに含まれるロケーション識別子により示される位置に基づいて前記マニフェストファイルにアクセスするステップであって、前記マニフェストファイルは前記共有オブジェクトの複数のインスタンスの各々のネットワーク上の位置を示す、前記マニフェストファイルにアクセスするステップと、
前記マニフェストファイルにおいて示される、共有オブジェクトの第１のインスタンスについてのネットワーク上の位置に基づいて、前記第１のコンピューティングデバイスと第２のコンピューティングデバイスとの間で第１のネットワーク通信を確立し、
前記共有ファイルの第２のインスタンスにアクセスするようにとの指示を取得するステップと、
前記マニフェストファイルにおいて示される、共有オブジェクトの第２のインスタンスのネットワークロケーション識別子に基づいて、自動的にシームレスに、前記第１のネットワーク通信とは異なる、前記第１のコンピューティングデバイスと別のコンピューティングデバイスとの間の第２のネットワーク通信を確立するステップと
を備えることを特徴とする方法。
【請求項２】
前記第１のネットワーク通信は同期通信のピアツーピアのネットワーク通信であり、前記第２のネットワーク通信は非同期のクライアント・サーバネットワーク通信であることを特徴とする請求項１に記載のコンピュータによって実施される方法。
【請求項３】
前記マニフェストファイルは、ピアツーピアネットワークに関連する共有オブジェクト

のインスタンスを示すピアグループの識別子を含むことを特徴とする請求項２に記載のコンピュータによって実施される方法。
【請求項４】
前記第１のネットワーク通信は非同期のクライアント・サーバネットワーク通信であり、前記第２のネットワーク通信は同期通信のピアツーピアのネットワーク通信であることを特徴とする請求項１に記載のコンピュータによって実施される方法。
【請求項５】
前記マニフェストファイルは、前記マニフェストファイルは、ピアツーピアネットワークに関連する共有オブジェクトのインスタンスを示すピアグループの識別子を含むことを特徴とする請求項４に記載のコンピュータによって実施される方法。
【請求項６】
前記マニフェストファイルはＸＭＬ文書であることを特徴とする請求項１に記載のコンピュータによって実施される方法。
【請求項７】
前記マニフェストファイルは前記共有オブジェクトの第１の部分に関連付けられ、前記共有オブジェクトの第２の部分とは関連付けられていないことを特徴とする請求項１に記載のコンピュータによって実施される方法。
【請求項８】
前記マニフェストファイルは、前記共有オブジェクト、ウェブサーバ、複数の位置およびアクチブディレクトリを有するグループの少なくとも１つのメンバー内に格納されることを特徴とする請求項１に記載のコンピュータによって実施される方法。
【請求項９】
前記ロケーション識別子により示される前記位置は、ファイルサーバ、サーバの共有領域、ウェブサーバおよびピアグループの少なくとも１つのメンバーであることを特徴とする請求項１に記載のコンピュータによって実施される方法。
【請求項１０】
コラボレート環境での複数の通信モードの間で遷移するために、
第１のコンピューティングデバイスから共有オブジェクトにアクセスするステップであって、前記共有オブジェクトはコラボレートなオブジェクトであり、マニフェストファイルの位置を示すロケーション識別子を含んでいる、共有オブジェクトにアクセスするステップと、
前記共有オブジェクトに含まれるロケーション識別子により示される位置に基づいて前記マニフェストファイルにアクセスするステップであって、前記マニフェストファイルは前記共有オブジェクトの複数のインスタンスの各々のネットワーク上の位置を示す、前記マニフェストファイルにアクセスするステップと、
前記マニフェストファイルにおいて示される、共有オブジェクトの第１のインスタンスについてのネットワーク上の位置に基づいて、前記第１のコンピューティングデバイスと第２のコンピューティングデバイスとの間で第１のネットワーク通信を確立し、
前記共有ファイルの第２のインスタンスにアクセスするようにとの指示を取得するステップと、
前記マニフェストファイルにおいて示される、共有オブジェクトの第２のインスタンスのネットワークロケーション識別子に基づいて、自動的にシームレスに、前記第１のネットワーク通信とは異なる、前記第１のコンピューティングデバイスと別のコンピューティングデバイスとの間の第２のネットワーク通信を確立するステップと
を備えるコンピュータ実行可能命令を記録したことを特徴とするコンピュータ読み取り可能記録媒体。
【請求項１１】
前記マニフェストファイルはＸＭＬ文書であることを特徴とする請求項１０に記載のコンピュータ読み取り可能記録媒体。
【請求項１２】

前記マニフェストファイルは前記共有オブジェクトの第１の部分に関連付けられ、前記共有オブジェクトの第２の部分とは関連付けられていないことを特徴とする請求項１０に記載のコンピュータ読み取り可能記録媒体。
【請求項１３】
前記マニフェストファイルは、前記共有オブジェクト、ウェブサーバ、複数の位置およびアクチブディレクトリを有するグループの少なくとも１つのメンバー内に格納されることを特徴とする請求項１０に記載のコンピュータ読み取り可能記録媒体。
【請求項１４】
前記ロケーション識別子により示される前記位置は、ファイルサーバ、サーバの共有領域、ウェブサーバおよびピアグループの少なくとも１つのメンバーであることを特徴とする請求項１０に記載のコンピュータ読み取り可能記録媒体。
【請求項１５】
コラボレート環境での複数の通信モードの間で遷移するためのシステムであって、
プロセッサと、
第１のコンピューティングデバイスから共有オブジェクトにアクセスするステップであって、前記共有オブジェクトはコラボレートなオブジェクトであり、マニフェストファイルの位置を示すロケーション識別子を含んでいる、共有オブジェクトにアクセスするステップと、
前記共有オブジェクトに含まれるロケーション識別子により示される位置に基づいて前記マニフェストファイルにアクセスするステップであって、前記マニフェストファイルは前記共有オブジェクトの複数のインスタンスの各々のネットワーク上の位置を示す、前記マニフェストファイルにアクセスするステップと、
前記マニフェストファイルにおいて示される、共有オブジェクトの第１のインスタンスについてのネットワーク上の位置に基づいて、前記第１のコンピューティングデバイスと第２のコンピューティングデバイスとの間で第１のネットワーク通信を確立し、
前記共有ファイルの第２のインスタンスにアクセスするようにとの指示を取得するステップと、
前記マニフェストファイルにおいて示される、共有オブジェクトの第２のインスタンスのネットワークロケーション識別子に基づいて、自動的にシームレスに、前記第１のネットワーク通信とは異なる、前記第１のコンピューティングデバイスと別のコンピューティングデバイスとの間の第２のネットワーク通信を確立するステップと
を備えるコンピュータ実行可能命令を記録したメモリと
を有することを特徴とするシステム。
【請求項１６】
前記マニフェストファイルはＸＭＬ文書であることを特徴とする請求項１５に記載のシステム。
【請求項１７】
前記マニフェストファイルは前記共有オブジェクトの第１の部分に関連付けられ、前記共有オブジェクトの第２の部分とは関連付けられていないことを特徴とする請求項１５に記載のシステム。
【請求項１８】
前記マニフェストファイルは、前記共有オブジェクト、ウェブサーバ、複数の位置およびアクチブディレクトリを有するグループの少なくとも１つのメンバー内に格納されることを特徴とする請求項１５に記載のシステム。
【請求項１９】
前記ロケーション識別子により示される前記位置は、ファイルサーバ、サーバの共有領域、ウェブサーバおよびピアグループの少なくとも１つのメンバーであることを特徴とする請求項１５に記載のシステム。
【請求項２０】
前記マニフェストファイルは複数の共有オブジェクトを示すことを特徴とする請求項１

５に記載のシステム。